

「いきものログ」メールマガジン「いきログ部☆連絡帳」 サンプル1

【いきログ部☆連絡帳】日本に800種類も!? カタツムリのお話

2025年10月2日 15:30

※このメールは「いきものログ」にユーザ登録されている方にお送りしています。
メールマガジンの配信停止をご希望の方は、本メールの末尾をご覧ください。

こんにちは！いきものログ運営事務局です。

【いきログ部☆連絡帳】は、いきログ部部長が「いきものログ」に関する各種情報をお届けするメールマガジンです。
今年度の配信は毎月1回を予定しています。

今回ご紹介する生きものは、「カタツムリ」です。

カタツムリと聞いて、皆さんはどんな姿を思い浮かべるでしょうか。

雨の日に塀や植木鉢をゆっくり移動する、渦巻の殻を背負った姿を思い浮かべる方が多いかもしれません。

でも実際には、驚くほど多彩な種類が存在し、それぞれの環境に適応しながら暮らしています。

たとえば北海道を表すエゾの名がついた「エゾキビ（エゾキビガイ）」はわずか2～3mmほどの大きさで、落葉や朽ち木に目を凝らして探すとやっと見つけられます。鳥取県、徳島県、近畿地方、関東以北の本州、北海道に生息する「バツラマイマイ」も6～7mmほどの大きさですが、殻にはまるでアンモナイトのような彫刻がありとても武骨な姿をしています。ほかに、キセルガイの仲間は縦に長く渦巻が伸びた殻を持っていたり、キビと名の付く仲間には円錐状のシュッとしたスタイリッシュな殻が多かったり、一言でカタツムリと言っても形、大きさ、色が本当に多様なのです。そして、南の島に行けばそこはまるで別世界。沖縄には日本産の約800種のうち、約140種が生息しており、そのほとんどが沖縄にしか生息していない「固有種」だそうです。

次に森を歩くと、落ち葉をそっとめくってみてください。思いがけない小さな出会いが待っているかもしれません。

カタツムリ一言メモ

- ・カタツムリは、実は陸にすむ貝
- ・ナメクジは、殻が退化したカタツムリの仲間

【配信停止をご希望の方】

マイページ (<https://ikilog.biodic.go.jp/MyPage>) の「プロフィール編集」画面から設定の変更を行ってください。

設定方法は「使い方」ページ (<https://ikilog.biodic.go.jp/Guide/>) をご参照ください。

いきものログ運営事務局（生物多様性センター内）

受付: 平日（土日、祝日、年末年始の12月29日～1月3日を除く）10:00～17:00

TEL: 0555-72-8018

E-mail: ikilog_info@env.go.jp

「いきものログ」メールマガジン「いきログ部☆連絡帳」 サンプル2

【いきログ部☆連絡帳】いきものログをもっと活用してみよう！

2024年7月19日 14:54

※このメールは「いきものログ」にユーザ登録されている方にお送りしています。
メールマガジンの配信停止をご希望の方は、本メールの末尾をご覧ください。

こんにちは！いきものログ運営事務局です。

【いきログ部☆連絡帳】は、いきログ部部長が「いきものログ」に関する各種情報をお届けするメールマガジンです。

夏の生きもの探しと言えば昆虫！ということで、今回は識別が難しい昆虫を、種名調べ支援を活用して報告する方法をお伝えします。

==目次==

1. 【参加募集】参加してみよう！「しおかぜ自然環境調査」開催中！
2. 【撮影ポイント】質問してみよう！上手に撮影して識別点をマスターしよう
3. 【活用例】いきものログのアプリを使ってみた
4. 【お知らせ】淡水魚類分布調査における国外外来種結果中間報告を公開しました！

=====

←「しおかぜ自然環境調査」は
2026年3月に終了しました。

1. 【参加募集】参加してみよう！「しおかぜ自然環境調査」開催中！

環境省の生物多様性センターが主催する「しおかぜ自然環境調査」 (https://ikilog.biodic.go.jp/Investigation?invReq=detail&eventremarks_id=56) では、東日本大震災が起こってからの生きものの状況を調べるために、震災の影響があった地域を中心に、全国で対象となる20種類の生きものを調べています。集まった情報を地図上に示すことで、震災後の生息状況の変化を明らかにします。

この調査は、震災の多い日本にとって、とても重要な生きもの情報になります。
是非、調査に参加して、いきものログから報告してみませんか？

調査方法や、対象の生きものの解説がまとまった「しおかぜ学習帳」も活用してくださいね！ (https://www.biodic.go.jp/shiokaze_chosa/pdf/shiokaze_gaku_2.pdf)

【対象の生きもの20種】

哺乳類：イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン

鳥類：キジ、ツバメ、ノスリ

爬虫類・両生類：ニホンカナヘビ、アオダイショウ、アカハライモリ、ニホンアマガエル

昆虫：アキアカネ、ハラビロカマキリ、ツマグロヒョウモン、アカボシゴマダラ、ハマダンゴムシ

その他：アシハラガニ、アサリ

植物：ハマエンドウ、ハマボッス、ハマヒルガオ

2. 【撮影ポイント】質問してみよう！上手に撮影して識別点をマスターしよう

現在、種名調べ支援を開催中です（10月31日まで）。

今回は、「しおかぜ自然環境調査」でも調査対象になっている、昆虫2種の撮影のポイントをご紹介します。

種名調べ支援で質問するときには、写真と一緒にどんな花や草にとまっていたかななどの情報も一緒にお知らせください。

■ツマグロヒョウモン

成虫は翅（はね）が開いた状態で模様が写っているとわかりやすいです。

幼虫は模様がよく写るように全体を撮影する。

食草となるスミレ類を探すと、幼虫や産卵に来た成虫を発見できるかもしれません！

■ハラビロカマキリ

胸と腹の部分が入るように背面側から、胸の形と翅にある白い点がよく写っているとわかりやすいです。

3. 【活用例】いきものログのアプリを使ってみた

いきものログにはスマートフォン用のアプリがあることをご存じですか？

今回は私、部長がアプリを使って報告してみたので、方法とちょっとしたコツをお伝えします。

※すでにパソコン用のサイトからユーザ登録している方を想定しています。

- ・アプリをダウンロード：IDとパスワードを入力する画面が開きますので、入力してログインをします。
- ・「報告する」という青いアイコンがありますので、こちらをクリックします。

・情報を入力するページが開くので「調査項目」に必要な情報を入れていきます。

ここで、ポイントです！

今回の観察位置は洋上だったのですが、市町村名を選択して、次に地図上で海の上を選択すると、「確認位置が一致しません」とエラーが出てしまいました。仕方がないので、船が出た羅臼町の港を地図上で選択しました。海洋生物を報告する際は、お気を付けください。

必要な情報を入力したら、画面左上の「一覧/アップロード」をクリックして、「アップロード」を再度クリックして完了です。

無事に、スパイホップ（水上の様子を確認するときに見られる行動）をしている子供のシャチを報告することができました。

アプリの詳しい使い方や、ダウンロード先はこちらでご案内しています。

<https://ikilog.biodic.go.jp/Apw/>

4. 【お知らせ】淡水魚類分布調査における国外外来種結果中間報告を公開しました！

2022～2025年度にかけて実施中の「自然環境保全基礎調査 淡水魚類分布調査」において、調査の1つとして、2023年度に全国数地域の河川等から採水を用いた環境DNA解析を実施して周辺に生息している淡水魚を調べました。その中から国外由来の外来種に関する結果を速報として公表しています。詳しく知りたい方は下記のリンクからご覧ください。

https://ikilog.biodic.go.jp/Investigation?invReq=detail&eventremarks_id=355&group_id=1

次回の配信は9～10月の予定です。

【配信停止をご希望の方】

マイページ (<https://ikilog.biodic.go.jp/MyPage>) の「プロフィール編集」画面から設定の変更を行って下さい。

設定方法は「使い方」ページ (<https://ikilog.biodic.go.jp/Guide/>) をご参照ください。

いきものログ運営事務局（生物多様性センター内）

受付: 平日（土日、祝日、年末年始の12月29日～1月3日を除く）10:00～17:00

TEL: 0555-72-8018

E-mail: ikilog_info@env.go.jp